



2022年3月期（第95期）

第2四半期決算説明資料

2021年11月25日

株式会社 河合楽器製作所

経営環境

日本経済

- ・ 度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令される中、感染拡大防止策が社会に浸透し、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 感染者数の増減により、経済活動の制限と緩和が繰り返され、個人消費の動向は今後も感染状況に左右される。

世界経済

- ・ 欧米等ではワクチン接種の進展による経済活動の段階的再開や景気浮揚政策の効果により回復の動きが鮮明。
- ・ 一方で、ワクチン接種の遅れやブレイクスルー感染などにより感染再拡大の地域もみられ、先行き不透明な状況。

依然として先行き不透明な状況で推移

100年ブランド

- 各事業における販売力、製品力、生産力、組織力をさらに深化させてKAWAIのブランド力を高め、収益性と企業価値の飛躍的な向上を目指す。
- 「ピアノでNo.1」を目指し、基幹事業である楽器教育事業の収益力向上を図る。



■ ショパン国際ピアノコンクール

本年10月にポーランドで開催された世界最高峰のピアノコンクールにおいて、当社のフルコンサートピアノ「SK-EX」が公式ピアノに採用。

「SK-EX」を使用したアレクサンデル・ガジェヴ氏が第2位、ジェイ・ジェイ・ジュン・リー・ブイ氏が第6位に入賞。12名のファイナリストのうち3名が「SK-EX」を選択。



©D.Golik / The Fryderyk Chopin Institute

■第4回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール 2022年に開催決定

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1年の延期を経て、2022年に開催を決定。これまでの参加者が世界のコンクールでも実績を残すなど、次世代を担うピアニストの発掘・育成の場として、また国際交流の推進や世界の音楽文化振興の一環として今後も取り組む。



氏名	国籍	SKIPC結果	他コンクール実績
三浦 謙司	日本	第1回 優勝	2019年 ロン・ティボー・クレスパン 優勝
サン・ジッタカーン	タイ	第1回 第2位	2018年 ジュネーヴ国際 第3位
ヤオ・ジャリン	中国	第2回 第4位	2021年 ブゾーニ国際 ファイナリスト
ポリーナ・サスコ	ウクライナ	第3回 第3位	
ロヴレ・マルシッチ	クロアチア	第3回 1次出場	
オ・ヨンテク	韓国	第3回 1次出場	
パク・キョンソン	韓国	第1回 奨励賞	2021年 シドニー国際 セミファイナル出場



第3回 第1位 イリヤ・シムクレル氏

2022年3月期 第2四半期 連結業績

□ 概要

前期比：巣ごもり需要を背景に鍵盤楽器販売が好調を維持し増収増益

計画比：各事業において、想定よりも堅調に推移し増収増益

〔単位：億円〕

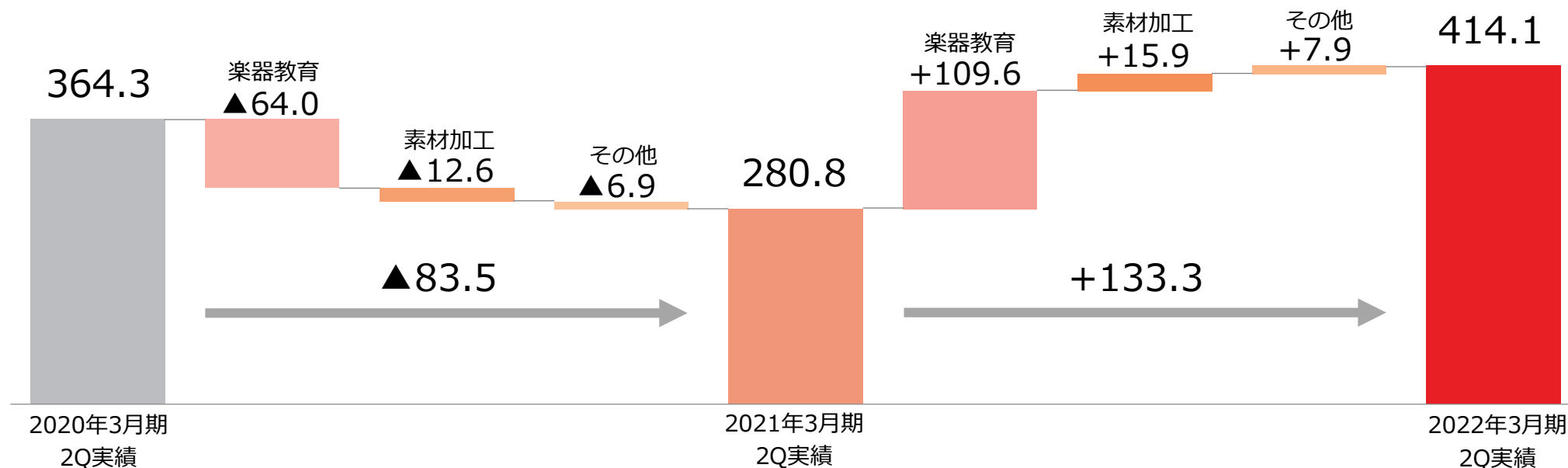
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		計画 差異	計画比	前期 差異	前期比
	第2四半期実績	第2四半期実績	第2四半期計画	第2四半期実績				
売上高	364.3	280.8	393.0	414.1	+21.1	+5.4%	+133.3	+47.5%
営業利益 (営業利益率)	19.6 (5.4%)	1.3 (0.5%)	24.5 (6.2%)	33.3 (8.0%)	+8.8	+35.9%	+32.0	—
経常利益 (経常利益率)	19.1 (5.2%)	2.9 (1.0%)	25.5 (6.5%)	35.4 (8.5%)	+9.9	+38.8%	+32.5	—
四半期純利益 (四半期純利益率)	14.3 (3.9%)	▲8.8 (—)	16.0 (4.1%)	23.4 (5.7%)	+7.4	+46.3%	+32.2	—
為替レート								
US\$	110.1円	108.3円	107.7円	107.7円	±0.0円		▲0.6円	
EURO	124.3円	119.3円	129.8円	129.8円	±0.0円		+10.5円	

※ 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益です。

□ 売上高

〔単位：億円〕

	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前期比
楽 器 教 育	290.7	226.7	336.3	+48.3%
素 材 加 工	51.7	39.1	55.0	+40.7%
そ の 他	21.7	14.8	22.7	+53.4%
合 計	364.3	280.8	414.1	+47.5%

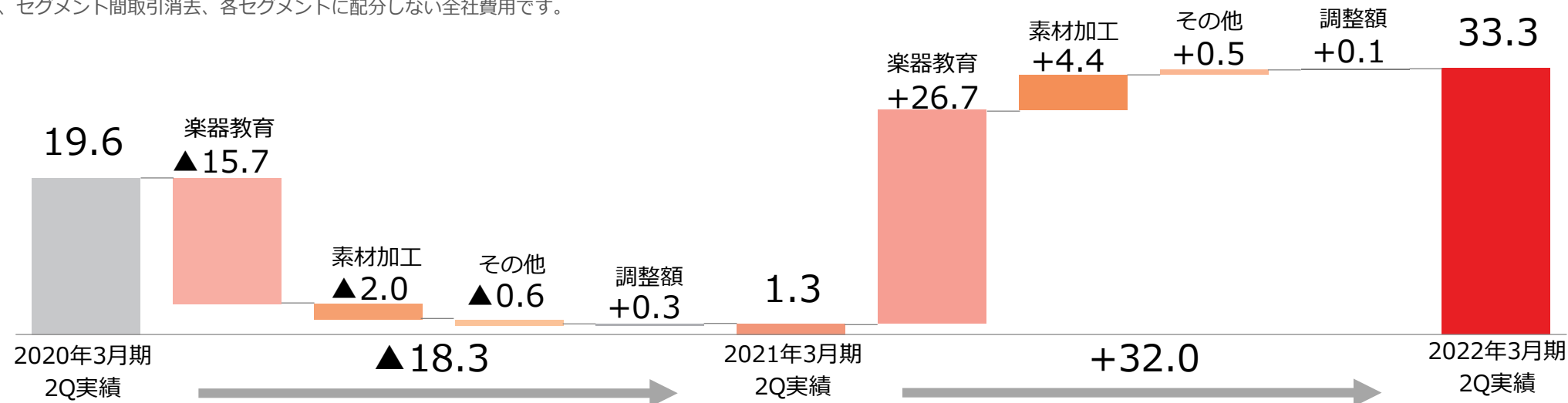


□ 営業利益

〔単位：億円〕

	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前期比
楽 器 教 育	13.6	▲2.1	24.6	—
素 材 加 工	6.2	4.2	8.6	+104.8%
そ の 他	0.2	▲0.4	0.1	—
調 整 額 ※	▲0.5	▲0.2	▲0.1	—
合 計	19.6	1.3	33.3	—

※ 「調整額」は、セグメント間取引消去、各セグメントに配分しない全社費用です。

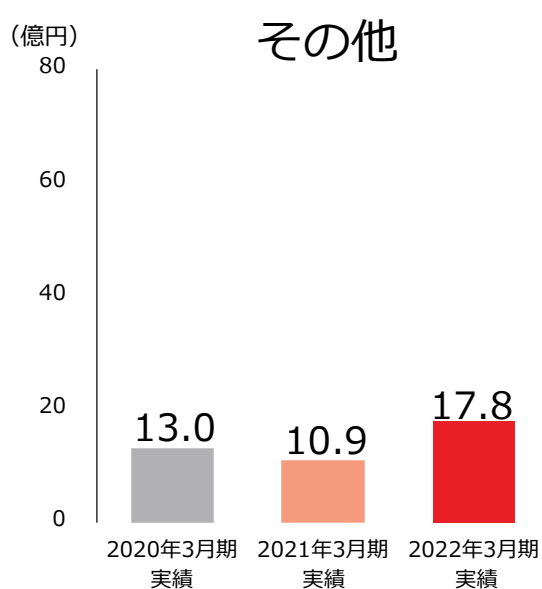
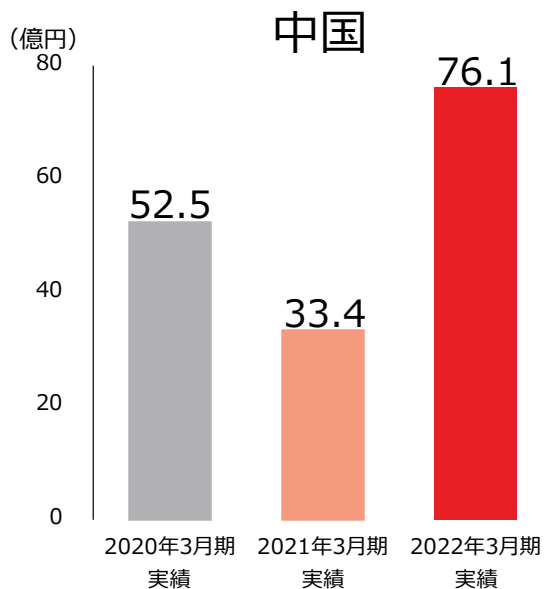
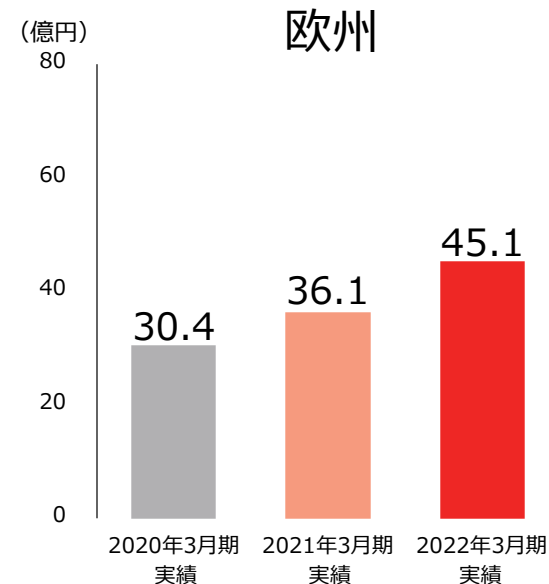
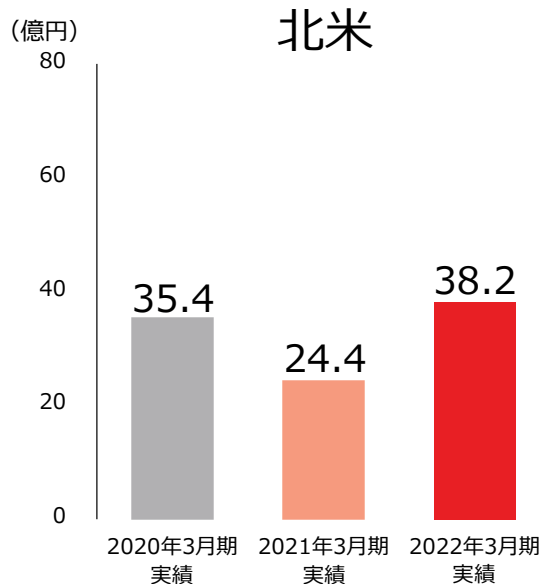
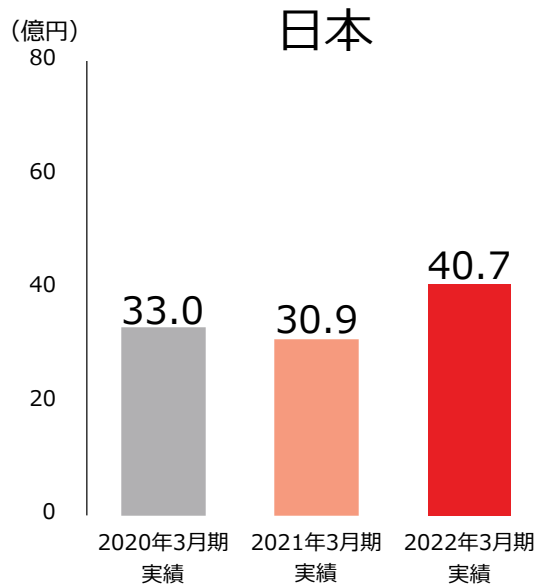


資 産：現金及び預金の増加などにより前期比増
 負 債：支払手形及び買掛金の増加などにより前期比増

〔単位：百万円〕

		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期2Q 実績	前期比
資	産	51,758	60,699	64,006	+3,307
負	債	26,041	32,765	33,560	+795
純	資 産	25,717	27,934	30,445	+2,511
自 己 資 本 比 率		49.5%	45.8%	47.3%	+1.5%

2022年3月期 第2四半期 基幹事業の概要 ～楽器教育事業～



レート	2020年 3月期実績	2021年 3月期実績	2022年 3月期実績
\$	110.1	108.3	107.7
€	124.3	119.3	129.8

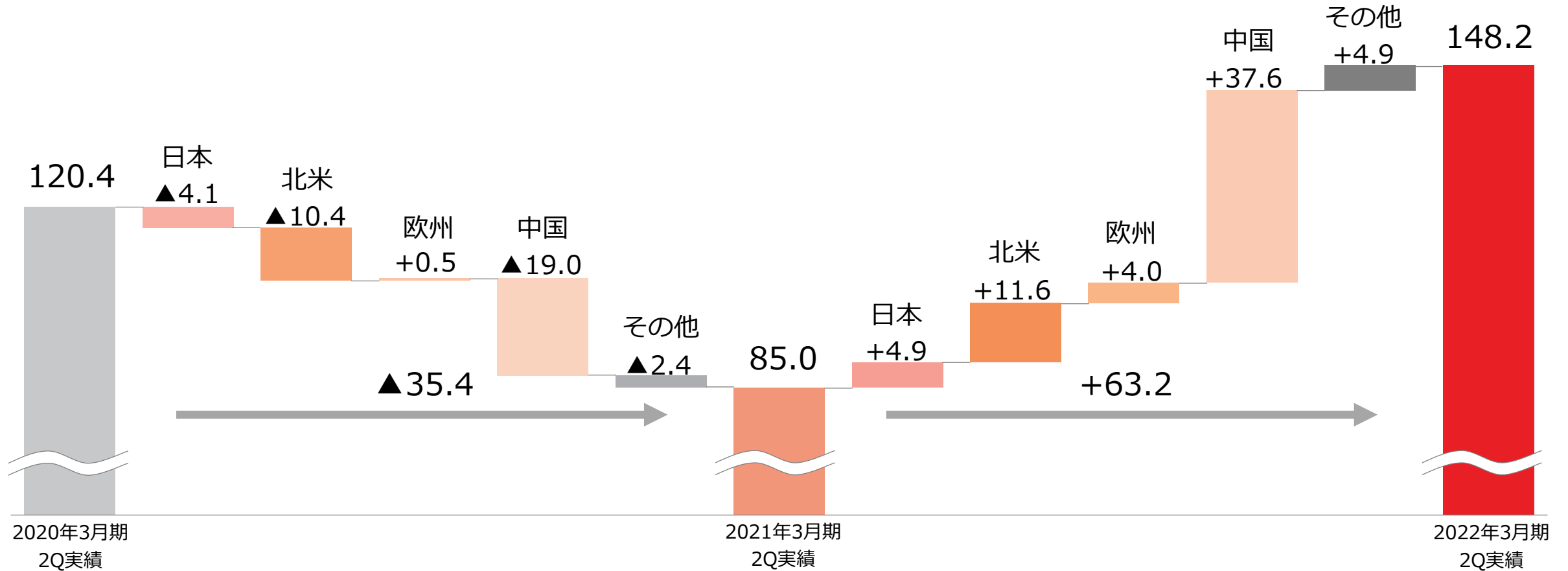
1円 円安変動での影響度【営業利益】

\$ ▲50百万円/通期

€ +44百万円/通期

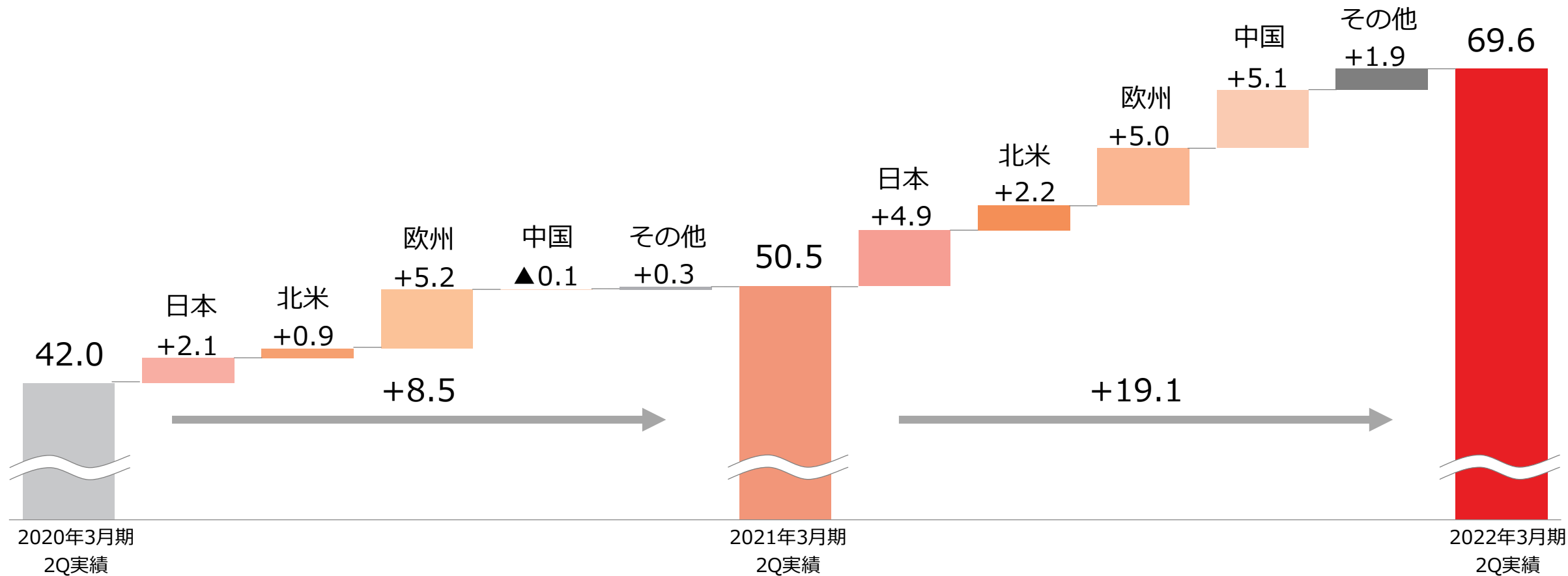
ピアノ販売は、Shigeru Kawai の伸長や、前期に大きな感染症影響を受けた中国の顕著な回復を中心に、各地で堅調に推移し、コロナ前水準を上回る伸長。

〔単位：億円〕

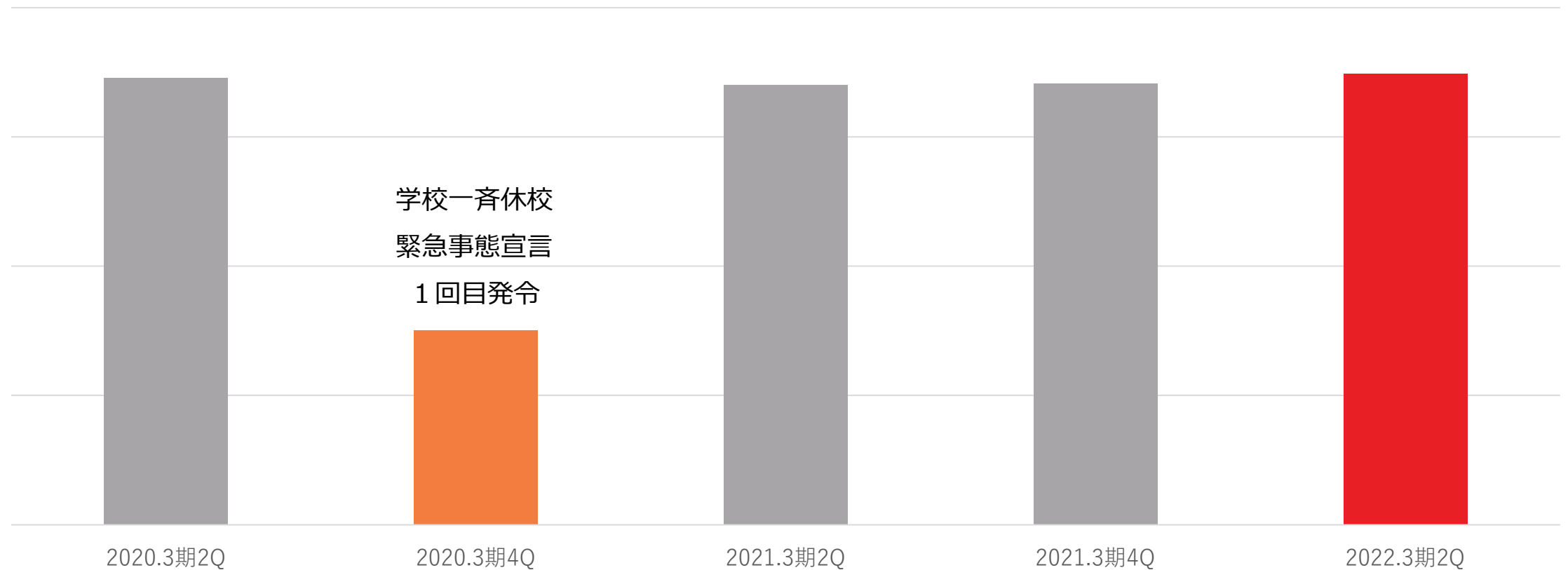


デジタルピアノ販売は、巣ごもり需要が旺盛であり、日本・欧州・中国を中心に堅調に推移し、コロナ禍において楽器販売を牽引。

〔単位：億円〕



音楽教室のピアノコース出席生徒数は、学校の一斉休校など新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年3月期4Qで急減するも、その後急回復し、現在はコロナ前水準に回復。



トピック① コロナ禍における商品政策

- ・ 特別な響板とハンマーを搭載「コンパクトグランドピアノGX-1 LE」限定発売
- ・ アコースティックピアノアクション搭載のハイブリッドピアノ「NOVUS NV10S/NV5S」発売



GX-1 LE



NV10S

- ・レッスンでの新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組むとともに、より安心して受講できる個人ピアノコースを推進し、生徒数の回復・拡大に取り組む

カワイ音楽教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する取り組みを行っております

♪ 教場内の感染予防対策



カワイの個人ピアノレッスン

オリジナルテキスト「サウンドツリー」を使用
お子さまが音楽を通してよりよく成長していくために「何が必要か」を常に考えたレッスンを行ないます

入会プランB 12月末まで
無料体験レッスン参加後 当日ご入会で 入会金 最大 **無料**



3歳からピアノを始めたい!
そんな気持ちに応えるコースです

新しくはじまりました!

3歳ソルフェージュ

新コース誕生キャンペーン
10~12月入会者限定 入会金 **無料**



トピック③ コロナ禍におけるミニピアノ人気

- ・「KAWAI meets HIDA ミニグランドピアノ」がグッドデザイン賞を受賞
- ・クリスマスプレゼント用の特別ラッピングを施したミニピアノを自社ECサイトにて限定発売



小さなピアニストに、小さな本物を。

KAWAI *meets* **HIDA**



グランドピアノ ナチュラル 1144
(2021クリスマスプレミアムラッピング)

2022年3月期 通期 連結業績計画

上半期における巣ごもり需要の楽器販売伸長や自動車関連部品の堅調な受注を受け、通期の連結業績予想を上方修正（下半期は各種コスト上昇により前回計画から増収減益）。

需要

- ・ 楽器の巣ごもり需要は、落ち着きも見られるが、音楽人口はコロナ前より拡大
- ・ 教育分野は、ピアノコース等の個人レッスンは旺盛。発表会等のイベントも再開
- ・ 素材加工分野は、自動車関連は業界動向により不透明感が漂う。防音は家庭需要が堅調

供給

- ・ 楽器生産は、コロナ感染状況に応じ各国規制に対応する中、操業を維持
- ・ 半導体や木材等の部材調達は、厳しい状況の中、各種調整により生産への影響は限定的
- ・ コンテナ不足等により、需給がひっ迫するも、バックオーダーの積み上がりは一時的

リスク

- ・ 経済活動の急回復による原材料や輸送費等の高騰。為替変動による損益影響
- ・ コロナ感染の再拡大や長期化による経済活動の停滞、個人消費の冷え込み
⇒ 生産工場の稼働停止、店舗の休業やレッスン休講など

- 概要 前期比： 増収増益計画（為替影響は、売上高+21.6億、営業利益+1.2億）
 計画比： 直近の業績と今後の動向を踏まえ、売上高・営業利益等を上方修正

〔単位：億円〕

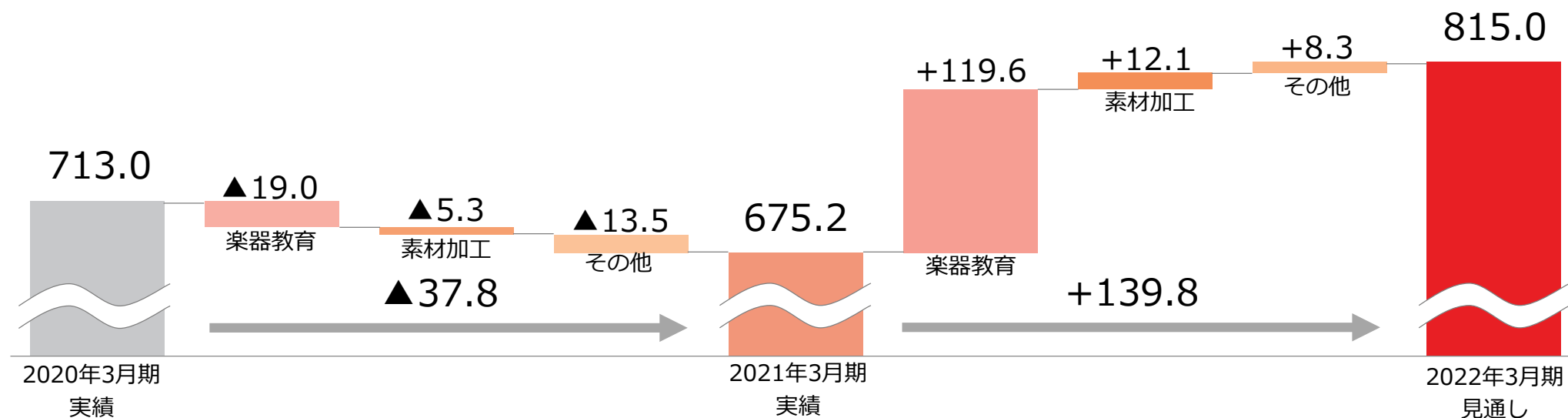
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		計画 差異	計画比	前期 差異	前期比
	通期実績	通期実績	前回修正計画	通期見通し				
売上高	713.0	675.2	785.0	815.0	+30.0	+3.8%	+139.8	+20.7%
営業利益 (営業利益率)	29.6 (4.2%)	34.9 (5.2%)	48.0 (6.1%)	51.0 (6.3%)	+3.0	+6.3%	+16.1	+46.1%
経常利益 (経常利益率)	31.1 (4.4%)	40.0 (5.9%)	49.0 (6.2%)	53.0 (6.5%)	+4.0	+8.2%	+13.0	+32.5%
当期純利益 (当期純利益率)	15.4 (2.2%)	25.7 (3.8%)	31.0 (3.9%)	34.0 (4.2%)	+3.0	+9.7%	+8.3	+32.3%
為替レート								
US \$	109.1円	106.8円	109.0円	110.0円	+1.0円		+3.2円	
EURO	122.1円	121.8円	130.0円	130.0円	0.0円		+8.2円	

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益です。

□ 売上高

〔単位：億円〕

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し	前期比
楽 器 教 育	570.4	551.4	671.0	+21.7%
素 材 加 工	96.4	91.1	103.2	+13.3%
そ の 他	46.0	32.5	40.8	+25.5%
合 計	713.0	675.2	815.0	+20.7%

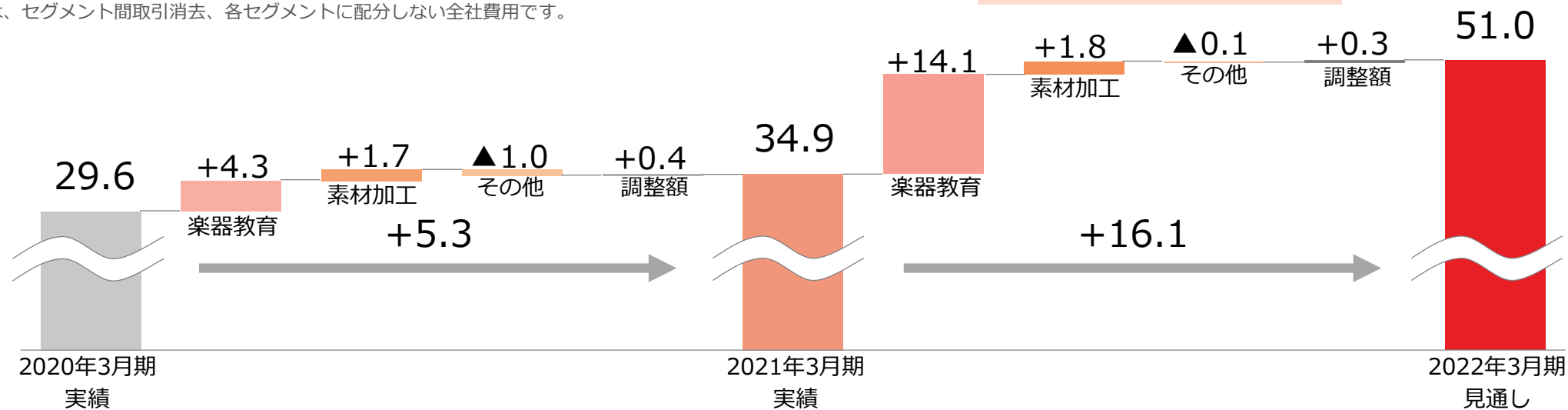


□ 営業利益

〔単位：億円〕

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し	前期比
楽 器 教 育	18.1	22.4	36.5	+62.9%
素 材 加 工	11.2	12.9	14.7	+14.0%
そ の 他	1.4	0.4	0.3	▲25.0%
調 整 額 ※	▲1.2	▲0.8	▲0.5	—
合 計	29.6	34.9	51.0	+46.1%

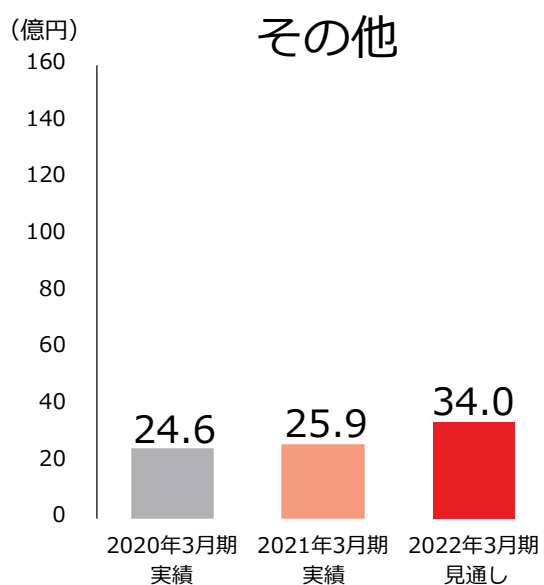
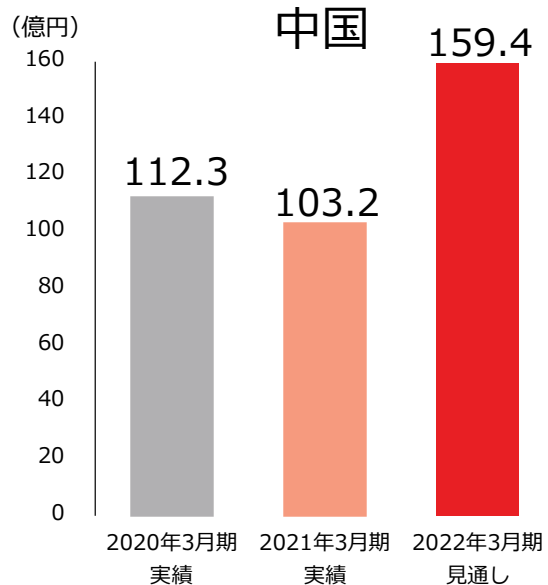
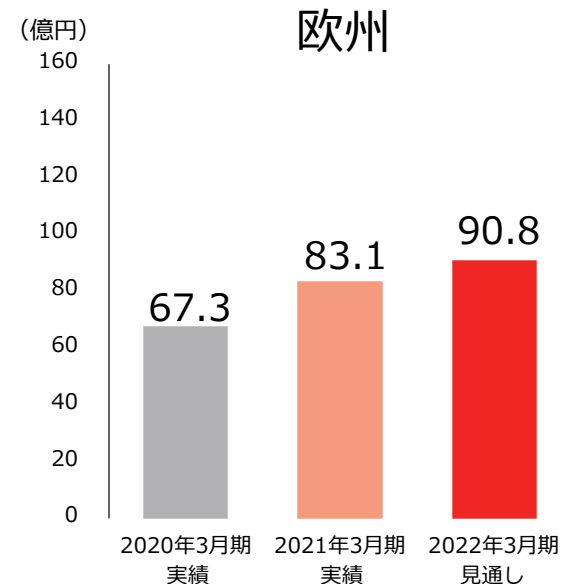
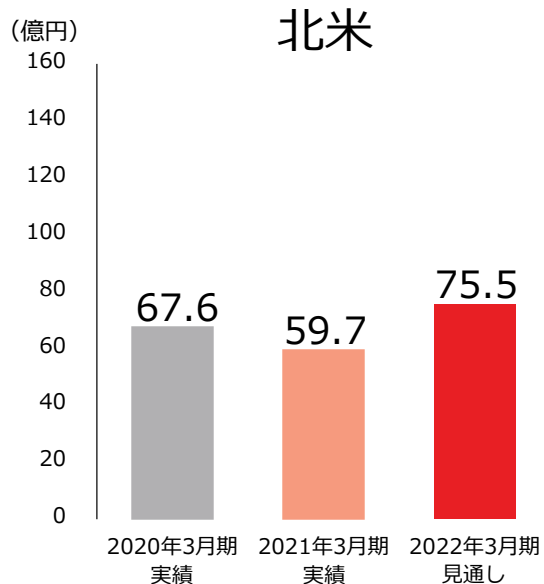
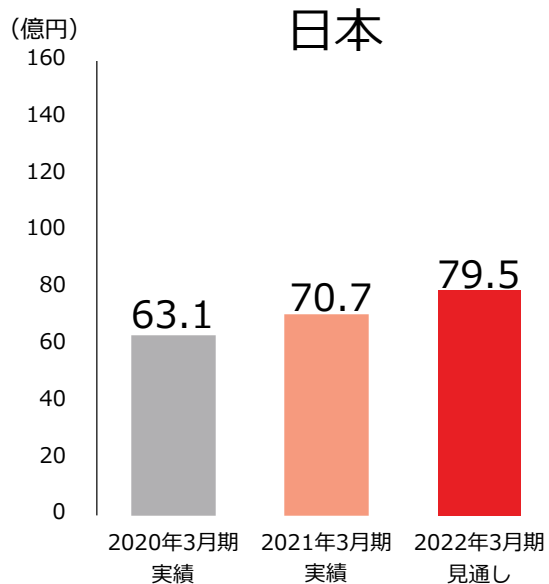
※ 「調整額」は、セグメント間取引消去、各セグメントに配分しない全社費用です。



2022年3月期 鍵盤楽器地域別業績計画

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。



レート	2020年 3月期実績	2021年 3月期実績	2022年 3月期見通し
\$	109.1	106.8	110.0
€	122.1	121.8	130.0

1円 円安変動での影響度【営業利益】

\$ ▲47百万円/通期

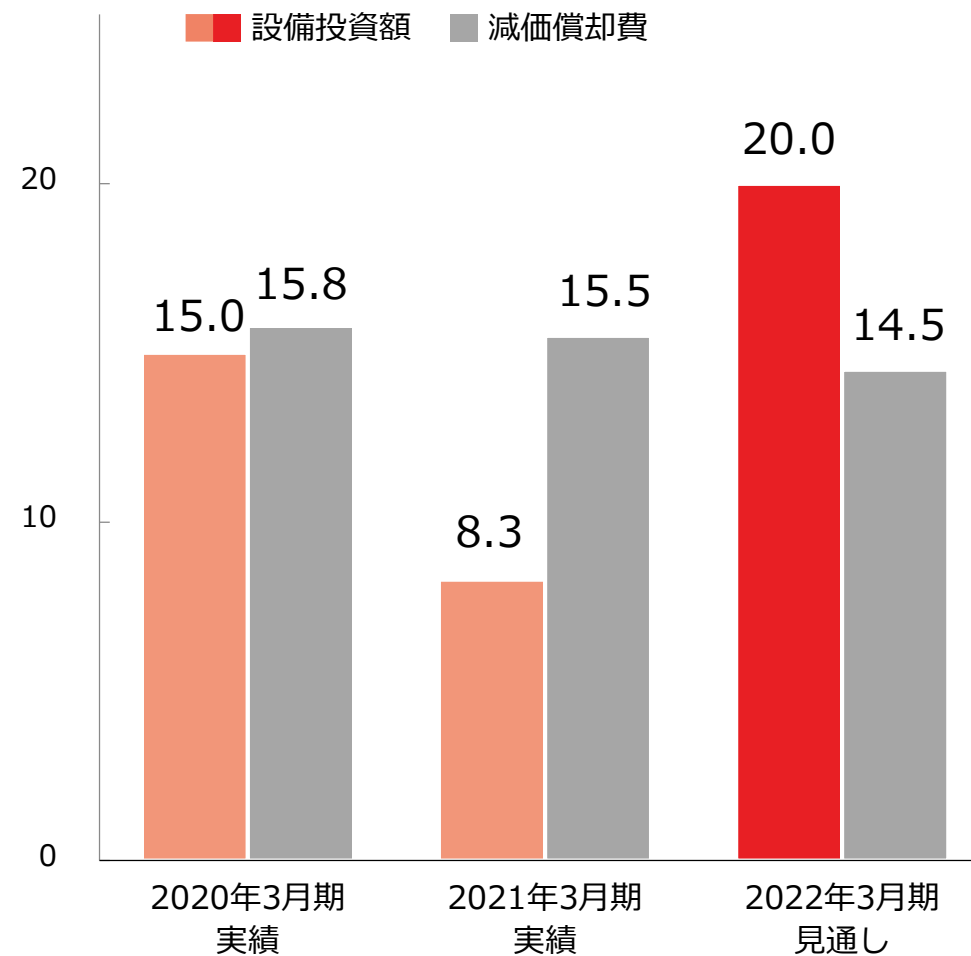
€ +40百万円/通期

設備投資 年間推移

〔単位：億円〕

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期見通し
楽 器 教 育 生産設備・店舗改装他	10.9	6.5	13.5
素 材 加 工 金属事業生産設備他	3.1	1.7	5.0
そ の 他 情報基盤投資他	0.9	0.1	1.5
合 計	15.0	8.3	20.0

〔単位：億円〕



KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、販売競争の激化、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。